慶應義塾大学
大学院健康マネジメント研究科

2023

看護学専攻
公衆衛生・スポーツ健康科学専攻

Keio University
Graduate School of Health Management

Major in Nursing
Major in Public Health, Sport and Health Sciences

～研究科委員長からのメッセージ～

困難な時代を乗り切るために

近年、わが国が抱える介護、福祉、予防、健康寿命等の課題と、これらを解決するための看護・ケア、医療施策、健康科学、スポーツ、そして公衆衛生学を、大学院という一つ屋根の下で有機的に学ぶという理念のもとに健康マネジメント研究科は運営されています。健康に対する世の中の関心の高まりに呼応し、これまで医療系学部に限定されていた学びの場を、出身学部の枠を超えて解放している点は本研究科の大きな特徴と言えます。

入学生の多様な背景を考慮し、知識の差分を充足するための導入科目の設置や、多くの授業を大学病院に隣接する信濃町キャンパスで開講するなど、学びの環境整備を進めて来ました。一方、大学院はカルチャースクールではありません。受動的学びに終始するのではなく、各人が抱く疑問や課題を研究や社会実装に昇華させることが要求されます。総合大学である慶應義塾の強みを生かし、様々な専門分野の指導教員が皆さんの学びや研究をサポートします。特にデータサイエンスの重要性には早くから注目し、多様な分析手法科目が用意されているので、領域を問わず、データに基づく科学的な意思決定のプロセスを修得することができます。

予定調和や秩序が崩壊しつつある不確実性の時代において、“たぶん大丈夫”といった楽観や、勘や経験、ましてや運に頼る判断はもはや通用しません。カリキュラム・ポリシーに掲げた「学際的な教育」、「実務と研究の融合」、「実証的研究方法」は皆さんが困難な時代を乗り切るための強力な理論武装につながるはずです。志のある学生の入学を期待しています。

健康マネジメント研究科委員長
石田 浩之

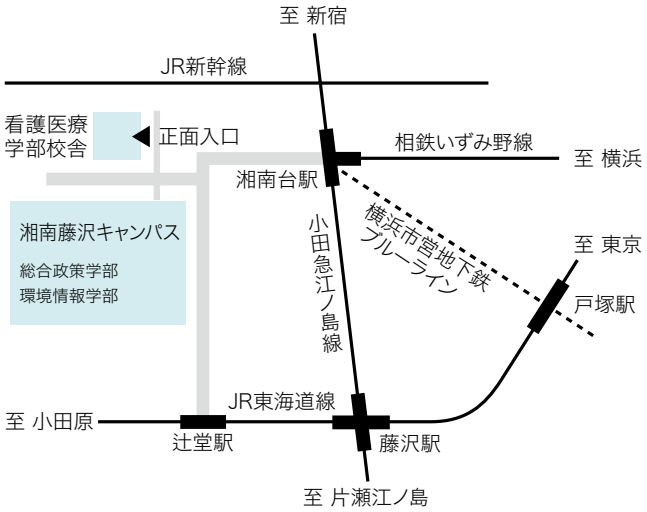
研究科概要

研究科名	大学院健康マネジメント研究科	
専攻名	看護学専攻、公衆衛生・スポーツ健康科学専攻	
授与する学位	看護学専攻	修士（看護学）、博士（看護学）
	公衆衛生・ スポーツ健康科学専攻	修士（公衆衛生学）、博士（公衆衛生学） 修士（医療マネジメント学）、博士（医療マネジメント学） 修士（スポーツマネジメント学）、博士（スポーツマネジメント学）
修業年限	修士課程２年、後期博士課程３年	

Campus & Access

■湘南藤沢キャンパス（SFC）

本研究科の主たるキャンパス。看護医療学部校舎を拠点とし、原則として月曜日と火曜日に授業が行われます。キャレルスペース、個人ロッカーの利用が可能です。

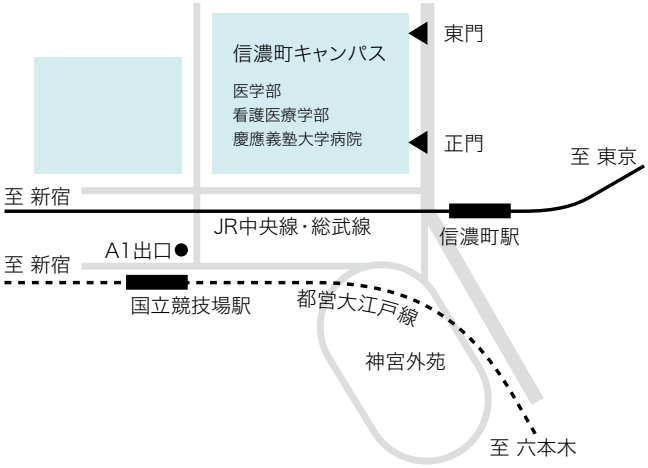


〒252-0883　神奈川県藤沢市遠藤4411
湘南藤沢事務室看護医療学部担当
TEL 0466-49-6200

- 湘南台駅（小田急江ノ島線／相鉄いずみ野線／横浜市営地下鉄ブルーライン）西口よりバス［慶応大学］行き約15分
  横浜～湘南台＝約30～40分
- 辻堂駅（JR東海道線）北口よりバス［慶応大学］行き約25分
  横浜～辻堂＝約25分
- 羽田空港～上大岡～湘南台＝約70～75分

■信濃町キャンパス

原則として木曜日と金曜日に孝養舎もしくは予防医学校舎にて授業が行われます。



〒160-8582　東京都新宿区信濃町35
信濃町キャンパス学生課（孝養舎）
TEL 03-5363-3662

- 信濃町駅（JR総武線）徒歩１分
  新宿～信濃町＝約６分
  東京～御茶ノ水～信濃町＝約15分
- 国立競技場駅（都営地下鉄大江戸線）徒歩５分
  新宿～国立競技場＝約４分
- 羽田空港～浜松町・大門～国立競技場＝約45～55分

修士課程

■人材養成の目標

本研究科は、本塾建学の精神に則り、学理および応用を研究教授し、人々の健康に資する保健・医療・福祉の在り方を構想し、科学的方法に基づく高度な実践・マネジメントに求められる深い学識および卓越した能力を培うことを人材の養成および教育研究上の目的としています。

■カリキュラム・ポリシー

●学際的教育の重視

多様な背景・専門の学生が互いの視点と言語を共有し、活発な議論を通じて切磋琢磨できるよう、協働を通じて学ぶ環境を整えるとともに、特定分野・領域の科目だけを履修するのではなく、様々な領域の科目を履修することで視野を拡げ、社会の健康水準の向上に貢献できる基礎的能力を培うことを重視します。

●実務と研究の融合の重視

実践を通じて得られたデータを体系化することで理論を構築し、理論的枠組みを用いて現場の課題解決を図り、さらに現場からフィードバックされたデータをもとに既存理論を検証し修正する、実務と研究を融合させた教育を重視します。また、実務と研究が相互に行き来する一連のプロセスを理解するために、インターンシップの機会が用意されています。

●実証的研究方法の重視

保健・医療・福祉のいずれの領域においても、限られた資源を効率的に活用して効果的な成果をあげるためには、個人や集団を問わず、臨床的な合理性と経済的な合理性の両立が求められます。そのため、勘や経験だけに頼るのではなく、エビデンスに基づく合理的意思決定に必要とされる実証的な分析手法の修得を重視しています。

■カリキュラム構成

●導入科目

学際的・先進的領域の本研究科には多様な背景・専門の学生が入学することから、不足する領域についての最低限の知識と基礎的能力を修得し、その後の履修をより効果的にする準備のための科目が用意されています。

●分析手法科目

専門領域を問わず合理的意思決定に求められる、エビデンスの分析および解釈に関する基礎理論と具体的手法を身につけるための科目が用意されています。本研究科は「分析手法科目」の履修を重視し、リテラシー系、生物統計・疫学系、データサイエンス系、質的研究系の科目を基礎から応用まで段階的に修得できるように配置されています。

●専門科目

専門領域における高度な知識と技能を修得するための科目が用意されています。履修制限のある一部の科目を除き、専攻やプログラムを問わず、保健・医療・福祉の領域における学際的かつ高度な知識と技能を修得できるよう、学生は自由に科目を履修することができます。

●インターンシップ関連科目

実務教育と体系的講義との相乗効果や、インターンシップに備えての背景の理解や基礎知識の修得、インターンシップでの実務体験を通じて得た知識・知見の客観化・体系化のため、インターンシップ関連科目を設置しています。原則として実務家・医療従事者が講師を務めます。

●特別研究科目

学位論文を作成するための研究指導を受ける科目として設置されています。公衆衛生・スポーツ健康科学専攻においては、修士論文に代わり課題研究論文（インターンシップ）を作成することが可能です。

■主な学事日程

1年次	9月中旬	指導教員の決定
2年次	6月初旬	学位論文予定題目申請書の提出
	11月中旬	学位論文発表会
	1月中旬	学位審査論文の提出
	2月初旬	学位論文審査・最終試験（口頭試問）
	3月初旬	審査結果の発表

■修了要件

2年以上在籍し（休学期間を除く）、所定の授業科目を30単位以上修得し、修士論文の審査および最終試験に合格すること。

●看護学専攻

導入科目	2単位以上
分析手法科目	6単位以上
専門科目	10単位以上
特別研究科目	4単位

●公衆衛生・スポーツ健康科学専攻

導入科目	2単位以上
分析手法科目	6単位以上
専門科目および インターンシップ関連科目	10単位以上 （インターンシップ関連科目2単位以上含む）
特別研究科目	4単位

後期博士課程

■人材養成の目標

後期博士課程においては、修士課程で培った能力をさらに伸ばし、直面する高度で複雑な状況に対して、適切に問題を見出し解決に導く分析能力、多様な背景の研究者や実務家などを統合して解決に導くリーダーシップ等をさらに高めるため、一般的な研究指導・論文指導に加え、研究プロジェクトへの参加、新規テーマの提案、研究開発管理の体験など複眼的で学際的なアプローチを通して、実践的で独創的な健康マネジメントの成果が展開できることを目指す教育を行い、より高度な研究能力と学際的視野を有する研究者、教育者、専門家の育成を目指します。

■論文中間審査会

毎年度、研究の進捗状況や研究成果を報告し、必要な指導・助言を受けると共に、研究テーマに応じた適切な進行段階にあることの確認・審査を受けなければなりません。

■修了要件

後期博士課程に3年以上在学（休学期間を除く）し、所定単位（特論科目4単位、合同演習科目6単位以上の計10単位以上）を修得し、かつ研究上必要な指導を受けたうえで博士論文の審査および最終試験に合格することとなっています。英語のみでの修了も可能です。なお、外国の大学院への留学が許可された場合、留学期間のうち1年間に限り在学年数に算入することが可能です。また、相当する内容の授業科目の単位を修得した場合、その学期の「合同演習」としての単位認定が可能です。

看護学専攻

看護学専攻長からのメッセージ

少子高齢化が加速し、人々の健康ニーズは高まり多様化しています。保健医療サービスの構造的変化や技術革新が進んでおり、今後、保健医療専門職の活動はより柔軟に多様な形で展開されるようになるでしょう。人々の生命・健康・生活を支え幸福に資するため、既存の枠組みにとらわれない柔軟な発想と行動力のある高度看護実践家、看護の学的基盤の発展に寄与する研究者の活躍がますます期待されます。

看護学専攻では、変容し続ける社会の中で、人々の健康を守り、病気や障害を抱えても、老いても、安心してその人らしく生きることを支える看護のあり方を探求し、創出し、実践する研究者、高度実践家の育成に取り組んでいます。そして他分野の専門家と有機的に連携し、グローバルな視点で人々の健康と看護の課題を捉え、行動できる人材を送り出したいと考えています。

看護学専攻には多様な14の専門分野があり、このうち4分野には専門看護師プログラムを併設しています。学際的で豊かな知識と高い倫理性を基盤とし、それぞれの分野の専門性を高めることができるよう、分野を超えた共通科目と、専門を深く学ぶ専門科目とを体系的に配置したカリキュラムにしています。さらに公衆衛生・スポーツ健康科学専攻との合同授業、海外研修や海外留学プログラム、学部-研究科5年一貫教育プログラム、総合大学の特性を生かした他研究科との連携、国際共同研究などがあり、様々なチャレンジができます。博士課程では海外副指導教授から指導を受けるチャンスもあります。看護学専攻では、次世代の看護を担う志高き学生たちとともに、半学半教で日々刺激し合い、学び合い、看護を探求、創造しています。

健康マネジメント研究科
看護学専攻長
野末 聖香

研究科委員（看護学専攻）

氏名	職位	専門
新井　康通	教授	※
大坂和可子	准教授	がん看護学、成人看護学、緩和ケア、看護情報学
小池　智子	准教授	看護管理・看護政策
杉山　大典	教授	※
鈴木　美穂	教授	基礎看護学
田口　敦子	教授	公衆衛生看護学・地域看護学
武田　祐子	教授	遺伝看護学、がん看護学、成人看護学
辻　　恵子	准教授	母性看護・助産学、遺伝看護学
永田　智子	教授	在宅看護学
野末　聖香	教授	精神看護学、リエゾン精神看護学
深堀　浩樹	教授	老年看護学、家族看護学、看護管理学
福井　里佳	准教授	基礎看護学、看護教育学
福田　紀子	准教授	精神看護学、リエゾン精神看護学
藤井千枝子	教授	先端看護学、看護技術、看護情報学、環境生態学
藤屋　リカ	准教授	国際保健看護学
細坂　泰子	教授	母性看護
堀口　　崇	教授	※
宮川　祥子	准教授	健康情報学、災害情報学
矢ヶ崎　香	教授	がん看護学、成人看護学、緩和ケア

※分野は特定しません。

■ディプロマポリシー

学際的で豊かな知識と高い倫理性に裏打ちされ、既存の枠組みにとどまらない構想力や研究・教育能力、複雑かつ先進的な健康課題を包括的に理解するための臨床判断能力、ならびにEvidence-based practiceおよび理論や概念基盤に基づいた最善のアウトカムをもたらすケア実践能力を修得した者に対して学位を授与します。

■修了生の進路

病院をはじめとした施設、地域における看護上級実践者および管理職、大学等教育・研究機関における教育・研究職が主たる進路となります。

専門看護師（Certified Nurse Specialist：CNS）プログラム

［概要］
日本看護系大学協議会による専門看護師教育課程基準を満たす教育課程として組み立てられたプログラムです。修士論文に代わり課題研究論文（CNS実習）を作成します。学生は、実習施設と担当教員の緊密な連携のもと実習指導を受けたうえで、実践的研究課題を取り上げ、講義・演習科目で培われた理論知のうえに立ち、CNS実習における実践知をふまえた総体的表現としての研究に取り組みます。

［対象分野］
老年看護分野、がん看護分野、精神看護分野、遺伝看護分野

［修了要件］
２年以上在籍し（休学期間を除く）、所定の授業科目を46単位以上修得し、修士論文または課題研究論文の審査および最終試験に合格すること。〈導入科目２単位、分析手法科目２単位、専門科目38単位、特別研究科目４単位〉

海外での研修・留学

［海外研修（メイヨクリニック）］
CNSプログラムの学生を対象に、専門看護実習の一部として、マグネットホスピタルとして名高いメイヨクリニック（米国ミネソタ州ロチェスター）において行われる研修です。人数枠の範囲内でCNSプログラム以外の看護学専攻の学生も応募が可能になる場合があります。

［海外短期留学（ワシントン大学）］
看護学専攻後期博士課程生を対象に、ワシントン大学（米国ワシントン州シアトル）において秋学期から冬学期（10月初旬～３月下旬）の半年間に行われる短期留学プログラムです。同大学博士課程の講義を受けることで修了証が授与されます。

５年一貫プログラムについて

看護医療学部４年次に、健康マネジメント研究科（看護学専攻）修士論文コースの一部の科目を履修することにより、学士（看護学）と修士（看護学）の２つの学位を５年間で取得できるプログラムを実施します。

■専門分野の構成

領域	分野	担当	
ライフステージケア領域	母性看護分野	細坂泰子、辻恵子	新井康通 杉山大典 堀口崇
	小児看護分野	ー	
	老年看護分野 ※	深堀浩樹	
クリニカルケア領域	基礎看護分野	鈴木美穂、福井里佳	
	成人看護分野	矢ヶ崎香、大坂和可子	
	精神看護分野 ※	野末聖香、福田紀子	
	がん看護分野 ※	矢ヶ崎香	
	遺伝看護分野 ※	武田祐子	
	先端看護分野	藤井千枝子、宮川祥子	
コミュニティケア領域	在宅看護分野	永田智子	
	公衆衛生看護分野	田口敦子	
	国際保健看護分野	藤屋リカ	
システムケア領域	看護管理・政策分野	小池智子	
	看護学教育分野	福井里佳	

※CNSプログラム併設

■科目一覧（修士課程）

導入科目			
臨床入門	社会保障論	ヘルスケア倫理学	健康マネジメント概論
高齢社会デザイン論	経営戦略論		
分析手法科目			
基礎疫学	サービスデータサイエンス	クオリティマネジメント	ヘルスアウトカム評価論
基礎生物統計学Ⅰ	基礎生物統計学Ⅱ	臨床試験方法論	ヘルス情報管理論
多変量因果解析	応用生物統計学	疫学研究の統計的方法	質的研究法
専門科目			
母性看護学	母性看護学方法論Ⅰ	母性看護学方法論Ⅱ	母性看護学演習Ⅰ
母性看護学演習Ⅱ	小児看護学	小児看護学方法論Ⅰ	小児看護学方法論Ⅱ
小児看護学演習Ⅰ	小児看護学演習Ⅱ	老年看護論	高齢者健康生活評価法
老年期疾患治療論	高齢者・家族援助論	老年サポートシステム・制度論	老年看護実践演習
認知症高齢者看護演習	老年専門看護実習	基礎看護学	基礎看護技術方法論Ⅰ
基礎看護技術方法論Ⅱ	基礎看護学演習Ⅰ	基礎看護学演習Ⅱ	がん病態生理学
がん看護論	がん看護援助論	がん治療看護論	がん遺伝看護論
がん薬物療法看護論	緩和ケア演習	がん専門看護実習	成人看護学
成人看護学方法論Ⅰ	成人看護学方法論Ⅱ	成人看護学演習Ⅰ	成人看護学演習Ⅱ
精神看護論	精神の健康生活評価法	治療的精神看護介入法	リエゾン精神看護論
精神保健医療福祉制度論	精神科治療技法	精神看護介入演習	精神専門看護実習
遺伝看護論	遺伝リスク評価法	臨床遺伝特論	遺伝看護対象論
遺伝医療・社会制度論	遺伝看護援助論	遺伝看護展開論	遺伝専門看護実習
先端看護学概論	先端看護学方法論Ⅰ a,b	先端看護学方法論Ⅱ	先端看護学演習Ⅰ a,b
先端看護学演習Ⅱ	在宅看護論	在宅看護方法論Ⅰ	在宅看護方法論Ⅱ
在宅看護学演習Ⅰ	在宅看護学演習Ⅱ	公衆衛生看護学	公衆衛生看護活動方法論Ⅰ
公衆衛生看護活動方法論Ⅱ	公衆衛生看護活動計画・評価論Ⅰ	公衆衛生看護活動計画・評価論Ⅱ	看護管理・政策学
看護管理・政策学方法論Ⅰ	看護管理・政策学方法論Ⅱ	看護管理・政策学演習Ⅰ	看護管理・政策学演習Ⅱ
看護学教育論	看護学教育方法Ⅰ	看護学教育方法Ⅱ	看護学教育演習Ⅰ
看護学教育演習Ⅱ	国際保健看護論	国際保健看護方法論Ⅰ	国際保健看護方法論Ⅱ
国際保健看護演習Ⅰ	国際保健看護演習Ⅱ	看護理論	看護教育論
コンサルテーション論	看護研究	看護情報学	看護倫理
看護政策論	看護管理論	フィジカルアセスメント	臨床病態学
臨床薬理学			
特別研究科目			
特別研究			

Column

臨床での課題解決を図る
研究の基礎能力を身に着ける

健康マネジメント研究科
2022年３月修了（がん看護分野）
舩戸 真衣

私は入学前、病棟で勤務をしていました。その際に、治療の副作用によって、自分らしい生活を送ることが困難ながん患者さんが多いことを感じ、看護師としてできることを日々模索していました。しかしながら、日々の業務と研究を並行することは難しく、研究に集中できる環境に身を投じたいと決心したのが、進学のきっかけです。

自身の研究に取り組むことは想像していた以上にハードでしたが、疑問を整理しながら考察することや、研究実施施設の関係者の皆さまにご協力いただけるように研究について説明することは大変貴重な経験になったと感じています。

また、本研究科では多様なバックグラウンドをもつ人と切磋琢磨できるほか、統計学や疫学など、看護学以外の講義も充実しており、研究の基礎から学ぶことができるので、初学者でもきちんと研究ができる環境が整っていると感じます。

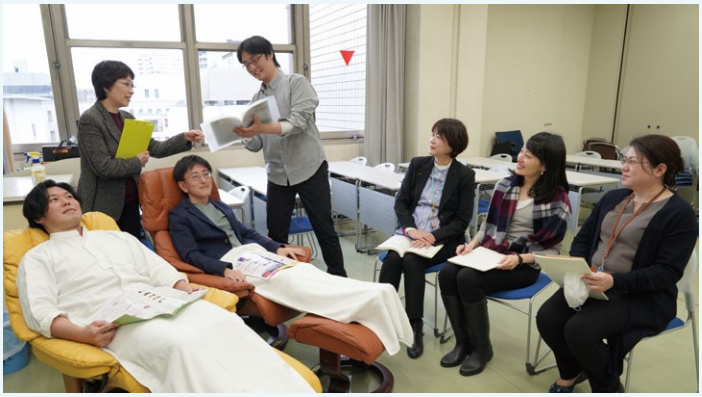
今後も修士課程での学びを活かし、ひとつでも多くの新しい知見が見出せるよう、精進したいと思います。

Column

“その人らしく生きる”ことを支える
精神看護実践を探究する

健康マネジメント研究科
看護学専攻　精神看護学分野
教授 野末 聖香　准教授 福田 紀子

精神看護分野では、人々が互いに尊重し合い心豊かに生きていくことができるよう、看護学の立場から貢献することを目指し、心の健康問題を改善・解決する高い専門性を持った専門看護師の育成、精神看護実践における諸問題を解明する研究者の育成に取り組んでいます。授業は、精神看護に関わる理論、アセスメントや介入技法等について、講義、ロールプレイ、グループディスカッション、スーパーヴィジョンを組み合わせて展開し、理論と技術を統合的に学習できるよう工夫しています。またCNSプログラムでは経験豊かな専門看護師とともにきめ細やかな実習指導を行いスペシャリストに必要な力を養っています。教員が現在取り組んでいる研究は、心の健康と睡眠の遠隔的支援、COVID-19感染拡大における精神看護専門看護師の実践などです。院生は心の健康と看護に関わる多様なテーマで研究に取り組んでいます。また修了生のための事例検討会を定期的に開催し、修了後も相互研鑽し、専門性を高め続けられるようなエンパワーの場を作っています。



リラクセーション演習の様子
＊ 実際の演習は、マスクを着用し実施しています。

公衆衛生・スポーツ健康科学専攻

公衆衛生・スポーツ健康科学専攻長からのメッセージ

COVID-19の感染拡大は、世界の人々にパブリックヘルスに係る専門活動の重要性を再認識させました。そして、わが国においても、ヘルスケア領野に対して、ワクチン・治療薬の開発に係る課題や、限りある医療資源の配分に係る課題、医療提供体制や施設管理に係る課題など、あまたの課題を大波が押し寄せるがごとく突き付けてきました。その中には、従来の知の枠組みでは解決が難しい課題も含まれています。

パブリックヘルスに係る活動の対象は、その名が示すとおり、感染症対策のみならず、広範多岐にわたります。課題対応においては、多くの場合、現場の状況をつぶさに把握した、総合的学際的な検討が必要になります。そして、活動の対象は、人々の生活様式や国際政治の動向等、人々を取り巻く環境に影響を受け、今後も範囲が拡大するものと思われます。

慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科の本専攻は、上記のようなパブリックヘルスに係る課題の特性を踏まえた教授陣を擁しています。そして、本研究科がいわゆる独立大学院であり特定の学部を設置していないことも相まって、本専攻には様々な学部の出身者が学生として在籍しています。すなわち、教員・学生間での議論、学生間での議論の双方において、総合的学際的に口角泡を飛ばした議論が可能となる環境が整っています。

大学院は、ノウハウのみを学ぶ場ではなく、課題解決に資する哲学を学ぶ場でもあります。世界の歴史をみても、真のリーダーになるためには、人生のいつかの時点で深く考究し、そして真理を探究し、自身の活動の礎を築くことが重要であることがわかります。学校教育法は、「大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする」（99条３項）と定めています。先人による知的成果を丁寧に紐解き、課題解決に向けた努力を惜しまない、旺盛で意欲的な学生をお待ちしています。本専攻での学習・研究を基礎にして、将来、それぞれの分野で、フロントランナーになり、オピニオンリーダーになることを期待しています。

健康マネジメント研究科
公衆衛生・スポーツ健康科学専攻長
前田　正一

研究科委員（公衆衛生・スポーツ健康科学専攻）

氏名	職位	担当学位プログラム※			専門
		公	医	ス	
秋山　美紀	教授	○			ヘルスコミュニケーション、コミュニティヘルス
新井　康通	教授	○	○		老年医学、疫学、百寿者研究
石田　浩之	教授			○	スポーツ医学、運動生理学、老年学
梅津　光弘	教授		○		経営倫理、応用倫理学
大澤　祐介	准教授	○		○	スポーツ科学、老年疫学、運動疫学
岡村　智教	教授	○			循環器疾患予防、健康教育、地域保健
小熊　祐子	准教授	○		○	スポーツ医学、運動疫学、健康行動科学
勝川　史憲	教授			○	内分泌代謝学、スポーツ医学
河井　啓希	教授		○		医療経済
権丈　善一	教授		○		公共政策、社会保障
後藤　励	教授	○			医療経済学、医療技術評価
佐藤　和毅	教授	○		○	スポーツ医学・整形外科学（とくに手・肘の外科）および臨床疫学
佐藤　泰憲	准教授	○			生物統計学、バイオインフォマティクス、臨床試験学
佐野　毅彦	准教授			○	スポーツビジネス
杉山　大典	教授	○			疫学、臨床検査医学、生物統計学
武林　亨	教授	○			疫学・予防医学、産業保健・環境保健
橋本　健史	教授			○	スポーツ医学、バイオメカニクス
藤屋　リカ	准教授	○			国際保健看護学
堀口　崇	教授	○	○		脳卒中の予防・治療・疫学・リハビリテーション、神経外傷、医療安全
堀田　聰子	教授	○	○		ケア人材政策、人的資源管理、地域包括ケア
前田　正一	教授	○	○		医事法、医療倫理、医療安全管理
宮田　裕章	教授	○	○		ヘルスデータサイエンス、医療の質、医療政策
山内　慶太	教授	○	○		医療マネジメント、精神保健
山本　渉	教授		○		統計科学、品質管理、信頼性工学

※公：公衆衛生学、医：医療マネジメント学、ス：スポーツマネジメント学

■ディプロマポリシー

●公衆衛生学

すべての人々の健康と生活の質の維持・向上を目指し、地域から地球規模にまで拡がる健康課題の解決を図ることのできる専門的知識・技能と、課題解決に導くコミュニケーションやマネジメントの能力を修得し、多様性への寛容や職業倫理観といった資質を備えていると認められる者に対して学位を授与します。

●医療マネジメント学

保健・医療・福祉機関並びに関連ビジネスにおいて、これまで以上に質の高いサービスを効率的かつ各個人のニーズを踏まえてきめ細やかに提供するために必要なマネジメントを、研究あるいは企画・実践できる能力を修得した者に対して学位を授与します。

●スポーツマネジメント学

個人や集団の健康の維持・増進に資する知識とビジネスマネジメント技能を統合することによって、健康水準の高い社会のあり方を企画・実践でき、スポーツ文化の振興とスポーツ産業の発展に貢献できる能力を修得した者に対して学位を授与します。

早期修了制度

修士（公衆衛生学、医療マネジメント学）に限り、保健・医療・福祉の分野で一定の専門性と実務経験を有する者を対象に、早期修了制度を用いて在学１年での学位取得が可能です。なお、修士（公衆衛生学）関連の科目は、信濃町キャンパスで開講されます。

MBA-MPHプログラム

本研究科と本塾経営管理研究科との間で、公衆衛生とビジネスの双方に通じた人材を育成することを目的としてつくられたプログラムです。十分な実務経験のある者を対象とし、経営管理研究科在籍時に本研究科の科目を上限10単位まで履修できる制度等の活用により、計３年間で修士（公衆衛生学）と修士（経営学）が授与されます。いずれの研究科からも開始できます。

ケースとデータに基づく病院経営人材育成プログラム

本プログラムは、ケース討議を通じ、厳しさが増す経営環境において、創発性に富みかつ課題発見と解決力・実行力のある実践的病院経営人材の養成を目的としています。履修者（５科目計10単位）にはサーティフィケート（修了証）が授与されます。すべての学位プログラムで履修可能です。

医療経済評価人材育成プログラム（HTAプログラム）

本プログラムは、疫学・統計学関連および医療経済関連の授業を通し、医療技術や医療制度を分析する人材育成を目的としています。履修者（11科目計20単位）にはサーティフィケート（修了証）が授与されます。すべての学位プログラムで履修可能です。

■修了生の進路

病院、介護施設、製薬会社、医療機器製造・流通会社、医療経営コンサルティング会社といった保健・医療・福祉関連団体や、大学、研究機関、シンクタンクといった研究教育機関、国、地方公共団体あるいは国際機関といった公的組織、スポーツ用品製造・流通会社、スポーツ団体（統括団体、クラブ等）、フィットネスサービス会社等のスポーツ関連団体に加え、広告会社、金融機関、保険会社、商社、経営コンサルティング会社、人材サービス会社、ITサービス会社等、卒業後の進路は多岐にわたります。

Column

問題解決のために
データサイエンスを活かす

健康マネジメント研究科
2017年3月修了（医療マネジメント学）
山田 知明

健康マネジメント研究科はデータサイエンスに注力している大学院の一つでもあります。私もその部分に魅力を感じて入学し、すぐに簡単な統計分析ができるようになり感激したと同時に、結果の解釈や実問題の解決につなげることは非常に難しいと感じました。単に解析方法を知るだけでは不十分で、問題の背景やデータの収集過程を理解していなければ実際の問題には応用できません。その点、健康マネジメント研究科では医学や統計学のみならず、法学や経済学、工学など様々な分野の専門家が在籍しており、さらに学術界でなくビジネス界で活躍する方々の講義・実習科目を受講することができます。また、インターンシップなど現場に出て学ぶ機会も多くあり、これらの経験を通して、当事者意識をもって物事を多角的に捉える思考が身に付きました。私は現在、大学で医療情報を活用した研究や、様々な研究に応用できる医療データ基盤の開発をしており、課題解決のためにデータを利用するという大学院で得た学びが活かされています。

Column

健マネで出会った３人で
コホートの研究支援業務をスタート

健康マネジメント研究科
2020年3月修了（公衆衛生学）
一般社団法人ハイジアコミュニケーション
新村 直子・菅原 かほる・池上 洋未

健康マネジメント研究科の公衆衛生学専攻で出会い、グループワークでは濃密な時間を共有した同期のMPH3人で大学院修了直後の2020年4月、一般社団法人を立ち上げました。薬剤師であり製薬企業でマーケティングを担当していた菅原さん、行政保健師としてキャリアを積んだ池上さん、そして、編集者・記者として医療健康領域を取材してきた新村です。３人とも各々仕事・研究を続けつつの“複業”ですが、健マネで知り合った先生のご縁で幸い初年度から神奈川県の未病改善事業に関する研究支援業務を受託でき、現在、３期連続で神奈川県みらい未病コホート研究の運営支援・情報発信を担っています。生活習慣病疫学で学んだ通り、多くのプロの丁寧な仕事の積み重ねで成り立つコホートの現場は私たちにとって貴重な一歩に。健康医療にかかわる人材の宝庫、健マネというプラットフォームと、大学院での学びを生かした活動をこれからも地道に進めていきたいです。

写真はオンライン会議中のメンバー。
ハイジアの公式サイト：https://hygeia-com.org/

モデルカリキュラム

疫学・予防医学の専門家を目指すコース
データサイエンス・生物統計の専門家を目指すコース
ポピュレーションヘルス(地域、産業、精神保健等)の専門家を目指すコース
グローバルヘルスの専門家を目指すコース
ヘルスコミュニケーション、健康行動(身体活動、栄養)の専門家を目指すコース
ヘルスケア領域の政策やマネジメントの専門家を目指すコース
HTAサーティフィケートも取得するコース
病院経営イノベーションサーティフィケートも取得するコース
ヘルスケア領域の組織の経営管理の専門家を目指すコース(主に医マネ)
医療・介護サービス等と地域共生を目指すコース
健康・医療・介護サービス等のデータを活用したマネジメントの専門家を目指すコース
医療安全管理、臨床倫理の専門家を目指すコース
健康スポーツ医科学領域の専門家を目指すコース
スポーツビジネス領域の経営管理の専門家を目指すコース

各コースの詳細は以下のWebサイトにてご確認ください。
https://keio.box.com/v/2022-gshm-model-curriculum

科目一覧(修士課程)

導入科目			
臨床入門	社会保障論	ヘルスケア倫理学	健康マネジメント概論
高齢社会デザイン論	経営戦略論		
分析手法科目			
基礎疫学	サービスデータサイエンス	クオリティマネジメント	ヘルスアウトカム評価論
基礎生物統計学Ⅰ	基礎生物統計学Ⅱ	臨床試験方法論	ヘルス情報管理論
多変量因果解析	応用生物統計学	疫学研究の統計的方法	質的研究法
専門科目			
医療政策・管理学	ヘルスサービス財務管理論	ヘルスサービス経営倫理学	医事法学
リスクマネジメント論	医療経営戦略論	パーソナルケアシステム論	医療経済学Ⅰ
医療経済学Ⅱ	ヘルスビジネス知的財産論	医薬経済学	老年医学・高齢者スポーツ医学
ヘルスプロモーション	運動生理学	運動疫学	バイオメカニクス・動作解析
健康スポーツ栄養科学	健康スポーツ経営論	健康スポーツマーケティング論	環境・産業保健学
公衆衛生マネジメント	感染症疫学・サーベイランス	生活習慣病疫学	地域保健学
国際保健学	精神保健学	ヘルスコミュニケーション	健康行動科学
インターンシップ関連科目			
病院経営論	居宅サービス経営論	民間保険経営論	製薬産業論
医療機能評価論	健康都市デザイン論	運動・体力評価法	健康スポーツプロモーション
健康スポーツ地域デザイン論	健康スポーツ産業論	公衆衛生実践	健康ビジネス開発論
コーチング			
特別研究科目			
特別研究			
研究科の定める科目			
データ対話型病院経営論Ⅰ	データ対話型病院経営論Ⅱ	病院経営のためのケース教育習得法	病院経営Ⅰ
病院経営Ⅱ	ヘルスエコノミクス	レギュラトリーサイエンス	薬剤疫学・データサイエンス
医療政策提言・アドボカシー	薬局経営管理論	労務管理論	医療制度とレギュラトリーサイエンス
QOLと費用の評価	医療経済評価特論	費用対効果評価演習	経済評価モデル分析演習
応用経済評価モデル分析演習			

Column

医療経済評価人材育成プログラム（HTAプログラム）

健康マネジメント研究科／経営管理研究科
教授 後藤 励

保健・医療・介護を含む社会保障支出は、高齢化や技術の高度化などによって増加の一途をたどり、少子化が世界一進む日本では財政面での持続可能性が危ぶまれています。また、昨今のCOVID-19への対応では、個々の医療機関で医療人材や治療に必要な資源を誰にどのように配分したらよいかという難しい問題に日々直面しています。

マクロの保健医療制度、ミクロの現場の両方において、お金、モノ、ヒトといった資源をどのように配分していくかを分析するのが医療経済評価です。健康マネジメント研究科では2019年度から国立保健医療科学院の委託事業として、医療経済評価人材育成プログラム（HTAプログラム）が設立されました。

医療経済評価を行い実際の資源配分に役立てるためには、健康改善の評価を行う疫学や統計学などの知識に加え、資源をどの程度費やしたかを測り健康改善に見合うかどうかを考える経済学の知識、さらには経済学で比較的論理的に答えを出すことができる効率性以外の要素、たとえば公平性などを評価するための経済学以外の社会科学の知識、これらを総合的に学ぶ必要があります。

HTAプログラムでは、11科目20単位の授業の履修により修了証が取得できるHTAコースを提供しています。国内の著名な医療経済評価研究者にもご協力いただいているこのコースは2020年度に18名、2021年度に21名の修了者を送り出しました。コース修了後も医療経済評価研究を続けたい方には、医療経済評価研究をサポートするKGRIの研究センター、現在政策として行われている医薬品等の費用対効果評価を行う公的分析班での研究や評価の実務の参加機会があります。

健康に関わるあらゆる分野で「もう少しお金やヒトをうまく活用することはできないだろうか？」という疑問をお持ちの方、ぜひ参加をお待ちしています！

持続可能な医療を実現するための学際的な領域

健康マネジメント研究科
2021年3月修了（公衆衛生学）
汐月 雄一

医療費という言葉は保険請求に用いられるレセプト分析の仕事に就いている私としては非常に身近なものでした。しかし、それを評価する方法については全く知らず、自らの視野を広げられることを期待しHTAプログラムを受講しました。

医療経済評価に必要な、医学、経済学、さらに統計学、医療制度、疫学の知識を講義だけでなく、グループワークやソフトウェアを用いた演習などで効率的に学ぶことができました。評価の方法は、これまで学んだことがない独特なものでしたが、納得感の高い合理的な方法でもあるという印象を持ちました。

またグループワークでは、医療経済評価に近い場所で働かれている方や逆に無縁だった方からも多くの刺激を受けられ、貴重な経験だったと思います。修了後もレセプト分析の仕事を続けておりますが、単なる医療費集計に留まらず、その先の評価まで想像した分析を行えるようになったことは本プログラムによる成長と感じています。

入学試験

※出願資格等、試験の詳細については必ず当該年度の募集要項をご確認ください。募集要項は研究科ウェブサイトで公開しています。

アドミッション・ポリシー

本研究科は、学際的・先進的分野の研究科として教育・研究水準の向上と広がりを目指し、医療系・非医療系の出身学部を問わず多様な背景の学生を幅広く受け入れるともに、学部の新規卒業者だけでなく実務経験者を含む既卒者も対象としています。そのため、入学者選抜については、入学希望者の本研究科における学習研究への意欲や研究活動の遂行に求められる課題設定能力、論理的思考力、分析力、説明能力等を多面的に評価し判定しています。

修士課程

日程	Ⅰ期	出願期間	2022年6月2日(木)～6月8日(水)
		試験日	2022年7月2日(土)
		合格発表日	2022年7月7日(木)
		入学手続期間	2022年12月5日(月)～12月9日(金)
	Ⅱ期	出願期間	2022年10月20日(木)～10月26日(水)
		試験日	2022年11月19日(土)
		合格発表日	2022年11月25日(金)
		入学手続期間	2022年12月5日(月)～12月9日(金)
	Ⅲ期	出願期間	2022年12月16日(金)～12月20日(火)
		試験日	2023年1月21日(土)
		合格発表日	2023年1月26日(木)
		入学手続期間	2023年2月6日(月)～2月9日(木)
募集人員	看護学専攻10人、公衆衛生・スポーツ健康科学専攻30人　(注)各期に募集人員枠は設けていませんが、Ⅲ期は若干名となります。		
試験科目	小論文試験、面接試験		
試験会場	湘南藤沢キャンパス看護医療学部校舎		

後期博士課程

日程	前期	出願期間	2022年10月20日(木)～10月26日(水)
		試験日	2022年11月19日(土)
		合格発表日	2022年11月25日(金)
		入学手続期間	2022年12月5日(月)～12月9日(金)
	後期	出願期間	2022年12月16日(金)～12月20日(火)
		試験日	2023年1月21日(土)
		合格発表日	2023年1月26日(木)
		入学手続期間	2023年2月6日(月)～2月9日(木)
募集人員	看護学専攻5人、公衆衛生・スポーツ健康科学専攻5人　(注)各期に募集人員枠は設けていません。		
試験科目	面接試験		
試験会場	湘南藤沢キャンパス看護医療学部校舎		
その他	・出願時に英語能力試験結果(TOEFL iBT、IELTS Academic、TOEIC Listening & Reading Testのいずれか一つ)を提出してください。 ・出願前に希望する指導教員に連絡し、研究計画等について説明・相談を行ってください。出願書類には説明・相談を行った日の記載欄があります。		

Keio University

1858

CALAMVS GLADIO FORTIOR

慶應義塾大学
大学院健康マネジメント研究科ウェブサイト
https://gshm.sfc.keio.ac.jp